



2024年10月 9日  
第54号

# JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一  
編集 情宣 担当  
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

## 物価上昇に賃金が追いつかず 実質賃金 3カ月ぶりマイナス

厚生労働省が8日に発表した8月の毎月勤労統計調査によると、労働者が実際に受け取る賃金である「名目賃金」を物価の変動を表す「消費者物価指数」で割ることによって算出される「実質賃金」が、前年同月から0.6%減少（速報値）して、3カ月ぶりにマイナスに転じました。

実質賃金は2022年4月から2024年5月まで26カ月連続でマイナスとなり、今年6月にプラスに転じましたが、8月に再びマイナスに転じました。

実質賃金とは、労働者が実際に受け取った賃金で社会においてどれだけの物品を購入できるかを表したもので、生活水準を示す指標です。



名目賃金指数(対前年増減率)



※厚生労働省 毎月勤労統計調査より

## 令和の米騒動落ち着くも 依然米価格高止まり

品薄だったお米も新米の流通によってスーパーの棚に並ぶようになりました。しかし、品薄前は5kgで2,000円前後だったお米は、現在は5kgで3,000円を超えており、主食であるお米の高騰は、私たちの生活を圧迫しています。

問題は、私たちの賃金が物価上昇に追いついていないことではないでしょうか？まもなく2024年度年末手当の申し入れ時期となります。現在、横浜地本管内では各支部でメッセージ行動や11・5集会を取り組むなど創造的な取り組みをスタートさせています。職場からのたたかいで、2024年度年末手当の満額を勝ち取ろう！



**JR東労組に結集し、2024年度年末手当の満額を勝ち取ろう！**